

## 大津歴博 だより

## 開館25周年を迎えて



開館当時の歴史博物館外観

博物館前の立木や芝生の様子を見ると、25年間の時の移り変わりの有様がうかがえます。

大津市歴史博物館は、平成2年（1990）10月28日に開館し、本年度で25周年を迎えます。このような節目の年を無事に迎えられることは、市民の皆様を始め、多くの方々のご協力、ご指導の賜物と、あらためて感謝を申し上げる次第です。常設展示・企画展示・れきはく講座・貸館を含めた入館者は、平成26年度末で、延べ220万人を超えました。

この間、市民に親しまれる、開かれた博物館として、様々な事業に取り組んでまいりました。常に新鮮でタイムリーな歴史情報を伝えるためのミニ企画展コーナーの設置（平成11年度）やホームページの開設（同12年度）、地元の成安造形大学と連携した夏休み子どもワークショップの新設（同14年度）、また、旧志賀町との合併による常設展示の改装（平成18年度）などがその主なものといえます。

平成27年度の企画展は、開館25周年記念とし、夏季に「広重の旅 浮世絵・近江・街道」、秋季に「比叡山一みほとけの山」と題した企画展を計画し、現在その準備を進めています。これらは、大津の歴史の特徴である「街道」や「仏教文化」に焦点を当てたものです。また平成28年の春季には、「大津歴博の玉手箱」と題し、開館以来収集してまいりました当館の収蔵品を、さまざまな視点から分析し、分かりやすく紹介するものです。詳細は順次「大津歴博だより」でご案内しますので、ご期待ください。

歴史博物館は、本年度を新たな起点とし、さらに30周年に向けて、意欲的に取り組んでいきたいと考えておりますので、変わらぬご支援をお願い致します。（館長 樋爪 修）

# 平成26年度 新収蔵品展

会期：平成27年4月28日(火)～6月7日(日)

歴史博物館では、毎年ミニ企画展コーナーにおいて、新たに収集した資料を紹介する「新収蔵品展」を開催しています。平成26年度は、初期の天津絵鬼の念仏をはじめ、紀樞亭による与謝蕪村風俳画作品、大石地域の貴重な古文書資料、琵琶湖の観光船資料を購入した他、瀬田の戦国武将山岡景友、徳川綱吉自筆の絵画、江戸時代から昭和初期の観光関係資料、そして戦中戦後の軍隊関係・教育関係資料など、大津の歴史と文化を語るうえで、大変貴重な資料が新たに加わりました。

本展によって、大津の様々な歴史の一端を新収蔵品によって触れていただくとともに、皆様のご家庭に残されている資料についての情報をお寄せいただければ、幸いです。

## 平成26年度収蔵資料一覧

購 入				
1	天津絵 鬼の念仏	1幅	江戸時代	
2	頼光四天王図 紀樞亭筆	1幅	江戸時代	
3	大石五ヶ村請所浜諸事留帳	1冊	江戸時代(寛政6年=1794)	
4	江州滋賀郡両畑村春日大明神関係文書	21点	江戸～明治	
5	太湖汽船時刻運賃表他観光関係資料	5点	大正～昭和	
受 贈				
1	山岡景友像	1幅	江戸時代	山岡知博氏寄贈
2	松鶴図 徳川綱吉筆	1幅	江戸時代	関弥栄子氏寄贈
3	野寺昏鐘図 横井不染筆	1幅	江戸時代	杉本欣久氏寄贈
4	幕末・明治期錦絵	8組	江戸～明治	馬場亮男氏寄贈
5	三井寺の桜 柴田晩葉筆	1幅	大正時代	足立郁子氏寄贈
6	伊勢参宮細見大全	1冊	江戸時代(明和3年=1766)	矢嶋純子氏寄贈
7	車 石	3点	江戸時代	村田博之氏寄贈
8	雄琴尋常小学校皆勤賞標 附 明治期教科書	21点	明治時代	上田俊治氏寄贈
9	栗本家所蔵資料	7点	明治～昭和	栗本誠三氏寄贈
10	堅田浮御堂倒壊後写真	2点	昭和時代	個人寄贈
11	昭和期観光案内関係資料	8点	昭和時代(戦前)	兼康保明氏寄贈
12	滋賀県観光絵葉書	一括	昭和～平成	西山喜雄氏寄贈
13	戦時想い出帳	1冊	昭和時代(戦前)	佐藤芳伸氏寄贈
14	戦中・戦後教科書他教育関係資料	14冊	昭和時代	齊藤文雄氏寄贈
15	停職滋賀県大津市長等国民学校長に係る嘆願書並びに奉安殿菊紋章	2点	昭和時代(戦後)	倉見栄一氏寄贈
16	瀬田中学校卒業アルバム	2冊	昭和時代(戦後)	榊本和子氏寄贈
17	中西家資料	33点	大正～昭和	中西孝次氏寄贈

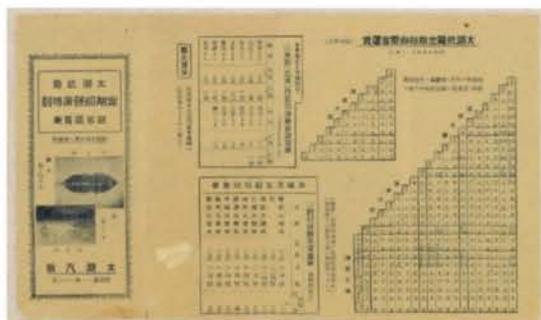
主な購入・受贈資料



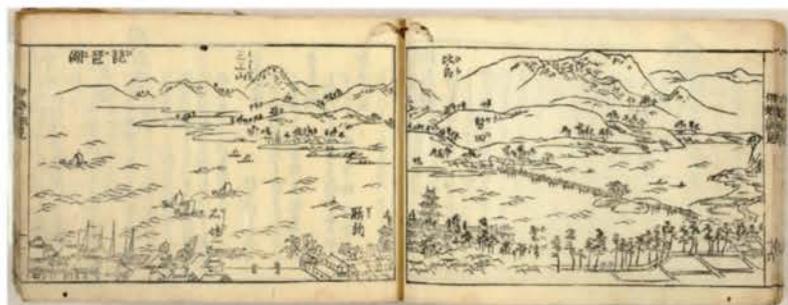
大石五ヶ村請所浜諸事留帳



江州滋賀郡両畑村春日大明神関係文書



太湖汽船時刻運賃表他観光関係資料



伊勢参宮細見大全



車石



雄琴尋常小学校皆勤賞標  
附 明治期教科書



堅田浮御堂倒壊後写真



戦時想い出帳



昭和期観光案内関係資料



滋賀県観光絵葉書



中西家資料  
(コンクリの国道1号をアスファルト舗装化)

# 大津の古墳時代

会期：平成27年6月9日(火)～7月26日(日)

古墳時代は、3世紀後半から7世紀にかけて、前方後円墳を中心に各地で多くの古墳が築かれた時代です。この頃には、今の大津市内にも様々な古墳が造られました。

皇子山1号墳(錦織1丁目)は、滋賀県内でも例の少ない前方後方墳で、琵琶湖をのぞむ丘陵頂部に造られました。また、膳所茶臼山古墳(秋葉台)は、全長約122mの前方後円墳で、滋賀県内では2番目の大きさです(県内最大の前方後円墳は、全長162mの安土瓢箪山古墳)。さらに、6世紀後半から7世紀になると、市内中部の錦織～坂本地域や北部の真野・堅田地域を中心に、小規模な古墳が密集して造られるようになります。特に、錦織～坂本地域の古墳群では、四壁面を内側へ徐々にせり出すようにドーム状に造った横穴式石室や、副葬品のミニチュア炊飯具など、渡来人系の文化を示す特徴がみられます。

このように、古墳時代のそれぞれ特徴ある古墳が、大津市内には数多く残されています。本展では、これまでにおこなわれた発掘調査の成果から、市域内の古墳の広がりを紹介し、古墳の中に収められていた品々を展示します。



皇子山古墳(2014年12月撮影)

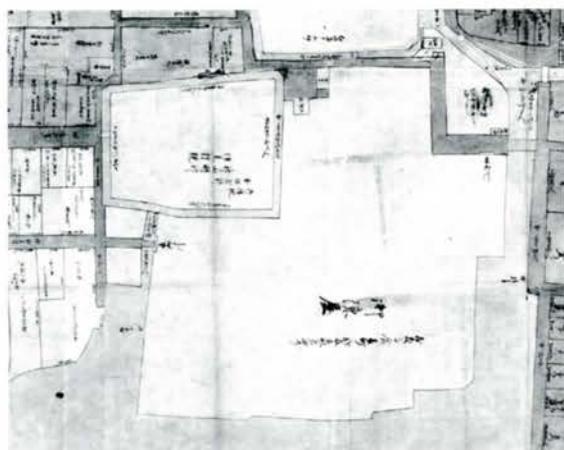


太鼓塚古墳群 第26号墳石室  
(大津市教育委員会提供)

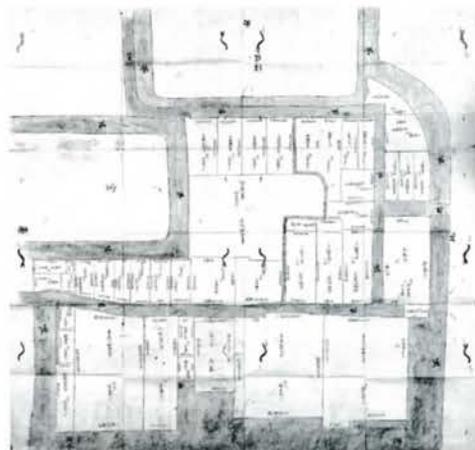


ミニチュア炊飯具(太鼓塚古墳群出土)  
(大津市教育委員会所蔵)

## 本堅田村の大火と堅田藩陣屋の成立



(写真1) 本堅田村絵図 堅田藩陣屋部分(右が北)  
文政8年(1825) 大津市・伊豆神社蔵



(写真2) 堅田藩陣屋敷地収公図(右が北)  
正徳3年(1713) 大津市・伊豆神社蔵

時は元禄11年(1698)3月、下野国佐野藩主であった堀田正高に滋賀・高島両郡1万石が与えられ、ここに堅田藩が成立しました。この時、藩庁である堅田藩陣屋が現在の本堅田二丁目18番の湖岸沿いあたりに置かれ、文政9年(1826)に堅田藩が廃止となるまで機能していました。その陣屋は、文政8年の本堅田村絵図の中に「御陳(陣)屋」と記されていて位置と範囲は明らかなのですが(写真1)、それがどのように成立していったのかは、十分に解明されていませんでした。

ところが、今回、堅田大庄屋文書研究会(大学研究者を中心に構成)と大津市歴史博物館の伊豆神社所蔵文書合同調査によって、これまで知られていなかった本堅田村に関する絵図が多く見つかり、その中の一つに堅田藩陣屋に関する絵図も含まれていることがわかりました(写真2)。

その絵図は、裏書の年紀から、堅田藩成立から15年後の正徳3年(1713)8月に作成されたことが判明し、また伊豆神社や祥瑞寺を囲む堀だけでなく、屋敷地の持主や町割りが細かく描かれていることから、文政8年絵図が描く陣屋敷地の範囲へと拡張する以前の情報が書き込まれていることがわかります。では、この絵図はどのようにして正徳3年に作られたのでしょうか。この絵図だけでは、その理由はわかりません。しかし、堅田藩からの命令や法令を中心に村内に関わる事項を書き留めた173年分に及ぶ「本堅田村諸色留帳」を読み込んでいくと、本堅田村で起こったある事実が浮かび上がります。実は、遡ること3か月前の閏5月、のちに堅田藩陣屋となる範囲で大火が発生していたのです。堅田藩はただちに類焼した全32軒の持主や広さの取り調べと絵図の作成を命令します。そして同時にそれら建家の再建にストップをかけました。どうも堅田藩は、大火・類焼を契機に、その屋敷地を取り上げて替え地を用意し、新たに陣屋敷地として拡張しようと考えたようです。もしかすると、これが堅田藩による大火からの復興であった可能性もありますが、いずれにせよ、収公する屋敷地を調べて堅田藩に提出した絵図の控えが、この堅田藩陣屋敷地収公図だったのです。

このように、絵図は非常に多くの情報を伝えてくれますが、どうしてそれが作成されたのか、絵図だけではわからないことが多いのです。しかし、そこに古文書や歴史資料など周辺資料を組み合わせることによって、今回で紹介した絵図のように、単なる陣屋の成立だけでなく、大火と復興を知る重要資料となります。今後も、伊豆神社所蔵の絵図を一つ一つ詳細に分析し、これまで知られていなかった堅田の歴史を探っていきたいと考えています。

(本館学芸員 高橋大樹)



大津絵 鬼の念仏



らいごう 頼光四天王図 きぼいてい 紀保亭筆



かびとも 山岡景友像



松鶴図 つなよし 徳川綱吉筆



やじごんろう 野寺昏鐘図 横井不染筆



幕末・明治期錦絵



三井寺の桜 柴田晩葉筆

## ご利用案内



### ■交通機関

- ・京阪電鉄石山坂本線別所駅 徒歩5分
- ・JR大津駅 徒歩15分
- ・JR大津駅、バス10分所下車

■駐車場 約70台(無料)

### ■常設展示観覧料

区分	個人	団体(15名以上)
一般	270円	210円
高校生・大学生	200円	160円
小学生・中学生	130円	100円

- ◆大津市内在住の65歳以上の方、市内在住の障害者の方は無料。
- ◆三二企画展は、常設展観覧料でご覧いただけます。
- ◆企画展の観覧料については、その都度定めます。

### ■開館時間

午前9時～午後5時(展示室への入場は午後4時30分まで)

### ■休館日

- 月曜日(祝日・振替休日の場合は開館し、翌日が休館)
- 祝日の翌日(土・日曜日の場合は開館)
- 年末年始(12月27日～1月5日)
- その他、業務の都合により休館する場合があります。

### —— 歴史カードのご案内 ——

当館主催の展覧館を自由にご観覧いただける定期観覧券です。また、当館発行の出版物や催し物の割引、様々な情報のご案内など、多くの特典を設けております。(1年間有効)

料金	一般	高大学	小中学
	2,000円	1,500円	1,000円 <sup>1)</sup>

★詳しくは博物館までお問い合わせ下さい。



## 大津市歴史博物館

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2番2号  
TEL 077-521-2100 FAX 077-521-2666

<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>